



中国贸促会专利商标事务所  
CCPIT PATENT & TRADEMARK LAW OFFICE

中国知的財産権

# ニュースレター



## 第9号

2023年第9号（全103号）  
2023年9月28日

# 目次

## CONTENTS

### 知財ニュース

---

国家標準の『専利評価ガイドライン』が正式に公布.....	3
中国国務院 医薬品と医療用消耗品の購入分野の知的財産権保護を強化.....	4
中国市場監督管理総局が『新時代の知的財産権法執行の強化に関する意見』を公布.....	6
北京インターネット裁判所 知的財産権保護を強化.....	8

### AI・IoT関連情報

---

湖畔ラボがAI専利ライセンス100件を無料で公開 中小企業の活用を支援.....	9
浪潮 (Inspur) インテリジェント端末有限公司がハードコア技術製品を2023年中国 国際スマート産業博覧会に出展.....	11
テンセントの大規模基盤モデル「混元 (Hunyuan)」が正式にリリース.....	13

## 国家標準の『專利評価ガイドライン』が正式に公布

🔍 [https://www.cnipa.gov.cn/art/2023/9/1/art\\_53\\_187168.html](https://www.cnipa.gov.cn/art/2023/9/1/art_53_187168.html)

知的財産権評価制度の充実をはかるため、中国国家知識産権局が中国人民銀行、中国国家金融監督管理総局とともに推奨的国家標準の『專利評価ガイドライン』（国家標準番号GB/T42748-2023、以下、『ガイドライン』という）を作成した。同『ガイドライン』は先頃国家市場監督管理総局（国家標準化管理委員会）により公布が承認され、2023年9月1日より施行された。

『ガイドライン』は專利評価の基本的な方法とツールを提供し、各方面の関係者が專利制度の特徴と適用規則を把握し、より包括的な評価指標とより科学的な評価方法を実現するのに資するものである。『ガイドライン』はこれまでの試行と広範なパブリックコメントを踏まえて、法的価値、技術的価値、経済的価値の一等級の3指標、そして二等級の指標14項、三等級の指標27項及び若干の拡張指標からなる開放的で実行可能な專利価値分析評価システムを構築し、使用許諾・譲渡、金融、財務・税務、権利侵害の救済、等級管理など多様なシーンにおける指標の選択と加重値の調整を合理的に指導し、企業、大学、科学研究組織、金融機関、鑑定機構などが、実際のニーズと状況に応じて選択し、それをベースにネゴシエーション又は全面的な市場情報分析を通じて專利の市場価格を決定し、価値を実現することを促している。

今後、中国国家知識産権局は関係部門と共同で『ガイドライン』の導入、施行を強化し、專利評価メカニズムの完備化を促進し、專利評価能力の向上に力を入れ、專利の活用に必要なサポートを提供し、イノベーションリソースの秩序ある流れと効率的な配分を促進していく。

## 中国国務院 医薬品と医療用消耗品の購入分野の知的財産権保護を強化

 <http://ipr.mofcom.gov.cn/article/gnxw/zfbm/zy/gwy/202308/1980471.html>

先頃、中国国務院が『外国人投資環境の更なる最適化と外国人投資誘致の強化に関する意見』を公布した。『意見』は外国人投資保護の強化について次の四つの要求を提起している。

外資の権益保護メカニズムを改善すること。国際投資紛争の対応メカニズムを整備し、主体(政府)の責任保証制度を徹底し、紛争の防止を強化し、国際投資紛争を適切に処理する。インターネット上で虚偽の侵害情報などを投稿、流布して外資の合法的権益を侵害する悪質な宣伝活動を断固として摘発し、関係責任機構と責任者に厳しく対処する。外資企業の苦情に対する省レベルの調整メカニズムを確立、改善し、複数の部門に関連する事項、政策や制度上の問題の解決を促進する。

知的財産権の行政保護を強化すること。専利権侵害紛争の行政裁決制度を改善し、行政裁決の執行を強化する。各地域が展示会の知的財産権ワークステーションを活用して出展商品の著作権、専利、商標などの知的財産権出願を受理し、効果的な権利侵害防止措置を提供することを支援する。医薬品と医療用消耗品の購入分野の知的財産権保護を強化し、医薬品調達活動に参加する企業は専利法及びその他の法律・法規に違反しないとことを自主的に約束しなければならない。知的財産権紛争に関与する製品について、関連部門はコミュニケーションと協議を強化し、法律や規定に従って調達活動を展開する必要がある。知的財産権管理部門の行政裁決又は裁判所の有効判決により専利侵害と認定された製品について、購入拒否や落札資格取り消しなどの措置を適時に講じる。

知的財産権の行政法執行を強化すること。外資企業の知的財産権を侵害する行為を断固

として取り締まり、複数地域に跨って行われた連鎖的な権利侵害行為に対して特別法執行を実施する。知的財産権の迅速共同保護メカニズムを完備化させ、事実が明確で証拠が確かな案件について法に従い迅速に処理し、オンラインとオフラインの統合された法執行メカニズムを確立、改善し、手続き要件を適切に簡素化させる。

対外経済貿易の政策と規定の制定を規範化させること。対外経済貿易の各種政策・措置の策定は透明性と予測可能性の向上に重点を置き、法により外資企業の意見を聴取し、新たに導入される政策・措置の実施まで合理的な過渡期を設ける必要がある。



## 中国市場監督管理総局が『新時代の知的財産権法執行の強化に関する意見』を公布

🔍 <http://ipr.mofcom.gov.cn/article/gnxw/zfbm/zy/bw/202308/1980535.html>

先頃、中国市場監督管理総局が『新時代の知的財産権法執行の強化に関する意見』（以下、『意見』という）を公布した。『意見』は、近い将来の知的財産権法執行の主要な目標、重要な任務及び保護措置を明確に定め、現段階の権利侵害・模倣行為の新しい特徴に対して知的財産権法執行の法的保障を強化し、完備した法執行メカニズムを構築し、法に従って各種経営主体の知的財産権を平等に保護し、イノベーション駆動型発展戦略の実施に強力なサポートを提供している。行政法執行、産業界の自律、企業による権利保護、社会監督が調和して役割を果たす知的財産権法執行体制の構築を2025年までにほぼ完了する。

『意見』は知的財産権法執行の対象となる主要製品、主要分野、主要市場、主要段階を明確にしている。インターネット分野の知的財産権法執行を強化し、外資分野と老舗ブランドに対する知的財産権保護を強化する。苦情報告件数が多い商品取引市場、農村部や農村部と都市の中間部にある市場における法執行を強化する。悪意の商標登録出願や商標・専利業務の違法代理などの行為を厳重に取り締まる。

『意見』は法執行機関の支援・保護措置を強化している。第一に、法執行の一元化と標準化を向上させる。第二に、法執行メカニズムを改善、完備化し、条件を満たす地方にはパイロット・プロジェクトを実施してオンライン・オフラインの融合、上下連携、エリア間の協力を組み合わせた法執行のチェーン全体の改善を支援する。第三に、法執行に対するテクニカルサポートを強化し、「デジタル＋法執行」能力向上活動の実施を結合して法執行データの報告、リアルタイムの情報収集、手がかりの科学的な分析、データの有効活用を強化し標準化する。第四に、社会資源を十分に活用し、業界団体、社会組織、仲介業者とのコミュニケーションと接触を強化して、知的財産権権利者リストを充実させる。第五に、法執行能力の構築を強化し、知的財産権法執行人材の育成・発展プログラムを実施する。

『意見』は各級の市場監督管理部門に対して、知的財産権法執行制度・メカニズムを構築、完備化させ、統一的、協調的、共同的かつ効率的で最適化した法執行体制を構築、改善し、システム統合の優位性を発揮させて、業務指導を強化し、完備化した業務相談・指示対応体制を確立、完備化させることを求めている。



## 北京インターネット裁判所 知的財産権保護を強化

<http://ipr.mofcom.gov.cn/article/gnxw/sfjg/rmfy/dfly/202308/1980798.html>

北京インターネット裁判所はこのほど、長期にわたる実務経験に基づき、堅実的な調査・研究を経て、『五子(注:第一の“子”、国際科学技術イノベーションセンターの建設。第二の“子”、「二つの区」の建設。即ち国家サービス拡大開放総合モデル区と中国(北京)自由貿易試験区の建設。第三の“子”、デジタル経済。第四の“子”、供給側の構造改革による新たなニーズの誘導・創造。第五の“子”、北京の非首都機能の軽減を要とする北京・天津・河北地域の協調発展の推進。)』の連携を促進し、首都の高品質の発展をサポート、保障するための意見」と「北京の高品質な国際的科学技術イノベーションセンター建設をサポート・保障するための措置」を公布した。『意見』と『措置』によると、北京インターネット裁判所は今後、知的財産権保護の強化、データ要素の流通と活用に対する奨励、法に基づくインターネットガバナンスの強化、精確で多様な司法サービスの提供という四つの面で10の具体的措置を提供する。

『意見』と『措置』によると、北京インターネット裁判所は正しい裁判理念を堅持し、判決で規則を確立し、ガバナンスを促進し、発展を支援し、合法的な権益保護、メカニズム革新の奨励、市場活力の刺激という価値観を裁判の執行業務に融合させる。積極的な司法理念を堅持し、モデル化された訴訟メカニズムを完備化させ、デジタル産業の重点分野の類似紛争の効率的な解決を促進し、訴訟の根源からの防止と削減を図る。また、北京国際科学技術イノベーションセンターの建設を支援するため、同裁判所はデジタル技術の開発と応用に関する司法ガイドを強化し、善のためのテクノロジーを奨励し、悪のためのテクノロジーには明確に反対する。知的財産権保護を強化し、デジタル経済のような新たな業態や様態が著作権保護にもたらす課題に積極的に対応し、AI生成作品、非代替性トークン(ノン・ファンジブル・トークン、NFT)、ホログラフィックディスプレイ製品など新たな形の対象の保護を強化し、文化分野におけるデジタルテクノロジーのクリエイティブな応用と適応を促進する。その他、同裁判所はワンストップ・スマート訴訟サービスを引き続き向上させ、訴訟リスク評価、AIによる訴訟手続きのサポート、電子証拠の保存などの機能を改善し、訴訟当事者に高品質で親切的な訴訟サービスを提供し、デジタル化、法治化したビジネス環境を引き続き改善する。

## 湖畔ラボがAI専利ライセンス100件を無料で公開 中小企業の活用を支援

🔍 <http://www.chinanews.com.cn/gn/2023/08-11/10059888.shtml>

8月11日、杭州市で開催された浙江省専利公開実施政策発表会で、浙江省トップ10のラボの一つである湖畔ラボが、AI分野の専利ライセンス100件を無料で一般公開すると発表した。中国AI分野における最大の専利開放行為となる。

今回の湖畔ラボによるAI専利ライセンス100件の無料公開は、国家専利公開実施リストの第一陣に入り、浙江省知的財産権取引センターでリリースされる予定であり、画像技術、ビデオ技術、3D視覚など多くのAI技術分野をカバーし、「交通信号機感知」、「権利侵害疑いのある画像の検出」、「時系列データ予測」、「ポイントクラウドデータ処理」、「インテリジェント字幕生成」など、幅広い応用シーンを有する専利も含まれている。中小企業がAI技術のベネフィットを低コストあるいはゼロコストで得ることが可能となり、AI時代の到来が加速される。

具体的には、発明専利「交通信号機感知方法、装置、設備及び記憶媒体」は、クロスアテンション(交差注意)メカニズムに基づき、様々なターゲット特徴ベクトルを融合して処理し、ターゲットが位置する交通信号機の感知結果を得て、インテリジェント交通シーンに利用できる。発明専利「権利侵害疑いのある商品画像の検出方法及び装置」は、アリババの電子商取引プラットフォームのガバナンス経験に基づき、局所特徴マッチングアルゴリズムを使用し、権利侵害疑いのある画像を効果的に識別できる。

注目すべきは、今回無料で公開された専利のうち、3件ががんの精密治療において医用画像のレジストレーションの問題に取り組んでいるものであることだ。レジストレーションは、医用画像アプリケーションの基本的なステップであり、ペアまたは一連の医用画像の空間的な対応関係を見つけることを目的としている。これらの3件の専利は、湖畔ラボが国際的なトップレベルの学術誌や学会で発表した研究成果に基づき、「画像誘導の放射線治療」、「縦方向の病巣定量化」、「アトラスベースセグメンテーションとマルチモーダル融合に基づくコンピュータ診断支援」に応用されている。これらの専利の公開は、より多くの病院ががん治療の全過程でイ

ンテリジェントなソリューションを打ち出すのをサポートし、がん精密治療の技術的成果の転換を促進するだろう。

紹介によると、湖畔ラボは長きに渡ってAIなどの最先端分野のレイアウトに注力し、一連の重要なブレークスルーを成し遂げ、大規模な応用を実現し、AIの基礎能力を全面的に構築して、1日の使用回数は1兆回を超え、10億人にサービスを提供している。



## 浪潮(Inspur)インテリジェント端末有限公司がハードコア技術製品を2023年中国国際スマート産業博覧会に出展

<http://cq.people.com.cn/n2/2023/0906/c367653-40560551.html>

2023年中国国際スマート産業博覧会が9月4日から6日まで、重慶市の重慶国際博覧センターで開催された。今回の博覧会では、新エネルギー・インテリジェントコネクテッド・ビークル、インテリジェント設備とインテリジェント製造、新世代情報技術、スマートシティの4大専門分野を中心に一連のイベントを行われた。浪潮(Inspur)インテリジェント端末有限公司は展示会に招待されて参加し、浪潮スマート充電スタンドのシーンや浪潮充電・蓄電ロボット・ソリューションなどのハードコアの技術製品を現場展示した。

浪潮スマート充電スタンドのシーンは、浪潮統合デュアルガン直流(DC)充電スタンドと浪潮充電スタンドインテリジェントLED広告機の2つの部分から構成されている。浪潮統合デュアルガン直流充電スタンドは、AI技術を利用して充電の安全性を守り、充電安全警告とバッテリー健康度管理によって車のエネルギーの健康を守る。インテリジェント化した電力自動分配と充電制御システムを採用し、シングルガンとデュアルガンの電力配分を最大限に満足させ、高い変換効率、安定した出力電流、高い信頼性などの特徴を備えている。ヒューマン・コンピュータ・インタラクションはより快適となり、大容量でバッテリー寿命が長いEVの急速充電のニーズに応える。

充電スタンドと一緒に出展された浪潮充電スタンドインテリジェントLED広告機は、インターネット、IoT、遠隔インタラクションなどの機能を備えた屋外端末設備である。75インチP1.538スモールピクセルピッチLEDスクリーンとHi-Fi音響機器を採用し、繊細で滑らかな画質とクリアなサウンドが実現され、浪潮クラウドプラットフォームを搭載し、スクリーンコンテンツの統合操作と遠隔監視が実現された。緊急通知、道路案内、公益広告、商業宣伝などの異なる種類、異なる時間帯のニーズを満たし、都市と農村のデジタル建設を促進し、住民生活の品質向上に良好な効果を果たしている。

さらに、浪潮充電・蓄電ロボット・ソリューションも会場に展示された。浪潮充電・蓄電ロボットは、EVまで自動で移動して充電できるロボットである。浪潮スプリット型移動式充電・蓄電ロ

ボットは、シャーシと蓄電池キャビネットで構成され、自動運転、自動ルート計画、障害物の自動回避機能を備えている。一つのシャーシは複数のバッテリー・キャビネットを搭載し、30分で一台をフル充電することができる。充電完了すると自動的に弾き出し、蓄電池キャビネットが自動的にエネルギーを補充する。全プロセスが自動で完了するため、快適で便利な充電体験をユーザーに提供する。

新エネルギー車の保有台数の持続的な拡大に伴い、充電インフラは新しい都市インフラとなり、そのニーズもますます高まっている。近年、浪潮インテリジェント端末有限公司は中国の「ダブルカーボン(カーボンニュートラルとカーボンピークアウト)」政策に積極的に対応し、様々なインテリジェント充電製品をリリースし、充電スタンドの安全リスク、充電スタンドのモジュールの高電力放熱、電力消費の安全性などの問題を解決し、国際的な電力エネルギー効率向上の技術と結合し、インテリジェントEV充電スタンド管理システムと充電スタンドボックス チェンジャククラスター充電システムを開発し、充電スタンドの集中管理、新エネルギーEVのエネルギー供給に対する効率的で便利な監視と管理を実現し、「ダブルカーボン」の目標の実現に知恵と力を提供している。





## テンセントの大規模基盤モデル「混元(Hunyuan)」が正式にリリース

<http://www.chinanews.com.cn/cj/2023/09-07/10073751.shtml>

9月7日に開催された2023年騰訊(テンセント)グローバルデジタル・エコロジー大会で、テンセントの混元基盤モデルが正式にリリースされた。混元基盤モデルは、テンセントによって独自開発された大型言語モデルであり、モデルパラメータは数千億のレベルに達し、中国語の作成、複雑な文脈での論理的推論、信頼性の高いタスク実行において優れた能力を発揮できるという。

テンセントグループの蒋傑副社長によると、混元基盤モデルは一から訓練されたものであり、テンセントはモデルアルゴリズム、機械学習フレームワーク、AIインフラなど全チェーンの技術をマスターしている。大会で蒋傑副社長は、混元基盤モデルの機能を組み込んだテンセント会議、テンセント文档、テンセント広告などの製品・業務の応用能力と革新的な探索を実演した。

「テンセントはこれから基盤モデルを全面的に採用する見込みである」。蒋傑副社長は、近いうちに、数人が参加した数時間にわたるオンライン会議が終わったら、AI技術による自然言語の指示で、参加者の発言を正確的にまとめて会議議事録を作成できる。また、ワンクリックで標準フォーマットのテキストを生成する、数百のExcelの数式に精通し、フォームの内容に基づいて自動的にグラフを生成するなどのことが可能になるだろうと述べた。現在、テンセントの混元基盤モデルは、社内の50社以上の業務をサポートしているという。

清華大学AI研究所視覚知能研究センターの鄧志東主任は、基盤モデルの価値は応用にあり、多様な実用シーンでスマート経済とスマート社会の発展に力を与えてこそ、産業的価値を見出すことができると述べた。

# ENRICHING YOUR IDEAS

## 北京本部

住 所: 〒100031 中国北京市復興門内大街158号遠洋大厦10階  
Tel: +86-10-6641-2345 Fax: +86-10-6641-5678/6641-3211  
Email: mail@ccpit-patent.com.cn

## 東京オフィス

住 所: 〒100-0004 日本東京都千代田区  
大手町二丁目2番1号新大手町ビル2階265区  
Tel: +81-3-6262-6643  
Fax: +81-3-6262-6645  
Email: tokyo@ccpit-patent.com.cn

## ニューヨークオフィス

住 所: One Penn Plaza Suite 4425 New York,  
NY 10119 U.S.A.  
Tel: +1-212-868-2066  
Fax: +1-212-868-2068  
Email: newyork@ccpit-patent.com.cn

## シリコンバレーオフィス

住 所: 3945 Freedom Circle, Suite 550,  
Santa Clara, CA 95054  
Tel: +1-408-855-8628  
Fax: +1-408-855-8639  
Email: siliconvalley@ccpit-patent.com.cn

## マドリードオフィス

住 所: Calle del Principe de vergara 13, 5<sup>o</sup>D,  
28001, Madrid, Spain  
Tel: +34-910-66-3553  
Email: madrid@ccpit-patent.com.cn

## 香港オフィス

住 所: 香港湾仔港湾道一号  
会展広場ビル34号09室  
Tel: +852-2523-1833  
Fax: +852-2523-1338  
Email: hongkong@ccpit-patent.com.cn

## 上海オフィス

住 所: 上海市静安区威海路567号  
晶采世紀大厦18階  
Tel: +86-21-6288-8686  
Fax: +86-21-6288-3622  
Email: shanghai@ccpit-patent.com.cn

## 広州オフィス

住 所: 広東省広州市天河区天河北路233号  
中信広場11階1112-1113室  
Tel: +86-20-3877-0278  
Fax: +86-20-3877-0297  
Email: guangzhou@ccpit-patent.com.cn

## 深センオフィス

住 所: 深セン市福田区嘉里建設広場  
T3ビル13階  
Tel: +86-755-3304-6671  
Email: shenzhen@ccpit-patent.com.cn

## 武漢オフィス

住 所: 湖北省武漢市洪山区関山大道473号  
光谷新發展国際センターB棟5階06-116  
Tel: +86-27-8720-0400  
Email: wuhan@ccpit-patent.com.cn